ⅱ）鹿田地区：鹿田遺跡　2,053.1箱

調査次：事業名	箱　数　（1箱：約30ℓ）							備　考（主要時期／特殊遺物）	文献
	合計	土器	石器	木器	種子	その他	ｻﾝﾌﾟﾙ		
第1次調査：医学部附属病院 外来診療棟	598	493	15.5	60	0.5	1	28	弥生中期～中・近世／人面線刻土器、木製短甲、井戸枠、ガラス滓等	報3
第2次調査：医学部附属病院 NMR-CT室	118.9	94	0.4	20	0.5		4	弥生後期～中世／墨書土器、田舟、木簡等	報3
第3次調査：医療短大　校舎	31.6	36	0.3	90	0.3		5	古代～中世／石帯、橋脚	報4
第4次調査：医療短大　配管	3.5	2	0.3		0.2		1	古代／鹿角製品	報4
第5次調査：医学部附属病院 管理棟	130	87	2.5	20	1.5		19	弥生後期～中・近世	報6
第6次調査：アイソトープ総合センター	62	59	0.5	1	1.5			中世／青銅製鋺	報11
第7次調査：医学部　基礎医学棟	81	66		10		1	4	弥生～近世／猿形木製品	報23
第8次調査：医学部附属病院 RI治療棟	8	8						弥生～中世	報23
第9次調査：医学部附属病院 病棟Ⅰ期	120.1	96	0.1	13		9	2	弥生～近世／木簡3点	年17
第10次調査：医学部附属病院 共同溝	2	2						古代～近世	年17
第11次調査：医学部附属病院 病棟Ⅰ期	74	66		4		2	2	弥生～近世／木簡1点	年17
第12次調査：医学部附属病院 エネルギーセンター	147	77	1	54			15	弥生～近世／漆塗り櫛	年18
第13次調査：総合教育研究棟（医学系）	254	211	5	10			28	弥生～近世	紀2
第14次調査：医学部附属病院 病棟Ⅱ期	66	54		3			9	中世～近世／木簡	紀3
第15次調査：総合教育研究棟関連（医学系）	4	4						古墳初頭・中世	紀3
第16次調査：医学部附属病院 立体駐車場	1	1						弥生～近世	紀4
第17次調査：大学院総合研究棟（医学系）	111	68	4	8		1	30	弥生～近世	紀6
第18次調査：医学部附属病院 中央診療棟	141	98	10	15			18	弥生～近世	—
箱　総　数	**2,053.1**	1522	39.6	308	4.5	14	165		

ⅲ）三朝地区：福呂遺跡　11.1箱

調査次：事業名	箱　数　（1箱：約30ℓ）							備　考（主要時期／特殊遺物）	文献
	合計	土器	石器	木器	種子	その他	ｻﾝﾌﾟﾙ		
第1次調査：固体地球研究センター実験研究棟	9	8					1	縄文早期・弥生中期・中世	報15
第2次調査：固体地球研究センター実験研究棟スロープ	2.1	2				0.1		中世～近世	報15
箱　総　数	**11.1**	10				0.1	1		

※事業名は調査時の名称である。

b．試掘・確認調査　11箱

調査次：事業名	箱　数　（1箱：約30ℓ）							備　考（主要時期／特殊遺物）	文献
	合計	土器	石器	木器	種子	その他	ｻﾝﾌﾟﾙ		
鹿田：医学部附属病院　駐車場	1	1						弥生～中世	年3
津島：男子学生寮	1	0.7	0.3					縄文後期～弥生前期	年3
津島：大学院自然科学研究科棟	1	1						縄文後期～弥生前期	年4
津島土生：外国人宿舎	1	1						縄文～中世	年5
津島：理学部　身障者用エレベータ	0.3	0.3						中・近世	年5
津島：教養部　身障者用エレベータ	0.7	0.7						縄文・中世	年5
津島：工学部校舎	1	1						縄文～近世	年6
津島：農・薬学部　動物・遺伝子実験施設	0.7	0.7						縄文～弥生、中・近世	年6
津島：国際交流会館	0.3	0.3						中世	年6
津島：大学院自然科学研究科棟合併処理槽	0.2	0.2						中・近世	年7
津島：学生合宿所	0.4	0.2					0.2	中世	年7
津島：教育学部　身障者用エレベータ	0.3	0.3						縄文	年7
津島：図書館	0.8	0.8						古墳～中世	年7
津島：学生合宿所ポンプ槽	0.4	0.4						縄文～中世	年8
倉敷：資源生物科学研究所	0.1	0.1						近世	年8
鹿田：アイソトープ総合センター	1	1						中世～近世	年8
津島：福利厚生施設	0.5	0.5						弥生？～中世	年8
津島：農学部　動物実験施設	0.1	0.1						縄文？～近世	年12
津島：環境理工学部Ⅱ期	0.1	0.1						—	年16
津島：工学部システム工学科棟	0.1	0.1						—	年16
箱　総　数	**11**	10.5	0.3				0.2		

c．立会調査　24.1箱

年　　度	箱　数　（1箱：約30ℓ）							備　考（主要時期／特殊遺物）	文献
	合計	土器	石器	木器	種子	その他	ｻﾝﾌﾟﾙ		
1983（昭和58）年度	2	2						分銅形土製品	年1
1984（昭和59）年度	1	1						—	年2
1985（昭和60）年度	1	1						—	年3
1986（昭和61）年度	0.5	0.5						—	年4
1987（昭和62）年度	0.5	0.5						—	年5
1989（平成1）年度：三朝･本島	0.3	0.3						—	年7
1991～1992（平成3～4）年度	0.3	0.3						—	年9 年10
1993～1999（平成5～11）年度	0.8	0.8						—	年11 ～17
2000（平成12）年度	**3**	**3**						—	年18
2002（平成14）年度	8.5	2.5	6					弥生早期土器、礫石	紀2
2003（平成15）年度	2	2						—	紀3
2004（平成16）年度	1	1						—	紀4
2005（平成17）年度	1.1	0.1					1	—	紀5
2006（平成18）年度	1.1	0.1					1	—	紀6
2007（平成19）年度	1	1						—	—
箱　総　数	**24.1**	16.1	6				2		

全体の箱総数	**3,014.6**	2,115.4	**90.7**	**466.2**	**25.0**	**18.1**	**299.2**

⑥ 自然科学的分析一覧：2008（平成20）年３月まで

凡例　・各項における分析者の所属は、分析依頼当時の名称である。
・☆：下記の科研費使用の分析を示す。
1.山本悦世　平成12年度・13年度基盤研究（C）（2）「縄文時代の景観復元と生業に関する実証的研究」
2.山本悦世　平成14年度・15年度基盤研究（C）（2）「縄文時代から弥生時代における景観比較と植物遺体の標本化」
・件数は必ずしも分析試料点数を示すものではない。
・報告：発掘調査報告書

a．年代測定（22件）

遺跡名	調査次	種　類	点数	分析方法	測定値の報告	分析機関・分析者
津島岡大	第３次調査	貯蔵穴内堅果類	1	放射性炭素年代測定	報告19 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第３次調査	貯蔵穴内堅果類	1	放射性炭素年代測定	—	国立歴史民俗博物館
津島岡大	第３次調査	土器付着炭	2	放射性炭素年代測定	紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第３次調査	土器付着炭	1	放射性炭素年代測定	—	国立歴史民俗博物館
					紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第５次調査	土器付着炭	1	放射性炭素年代測定	—	国立歴史民俗博物館
					紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第７次調査	炉内炭化物	1	放射性炭素年代測定	報告９ 紀要2004	学習院大学　木越邦彦
津島岡大	第８次調査	土坑内炭化物	3	放射性炭素年代測定	報告８ 紀要2004	学習院大学　木越邦彦
津島岡大	第15次調査	貯蔵穴内堅果類	1	放射性炭素年代測定	報告19 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第15次調査	貯蔵穴内堅果類	2	放射性炭素年代測定	—	国立歴史民俗博物館
津島岡大	第15次調査	土器付着炭	2	放射性炭素年代測定	—	国立歴史民俗博物館
					紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第17次調査	住居内炉の炭化物	2	放射性炭素年代測定	報告21 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第17次調査	土坑内炭化物	2	放射性炭素年代測定	報告21 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第22次調査	土壌内炭化物	2	放射性炭素年代測定	報告21 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第23次調査	土器付着炭	2	放射性炭素年代測定	報告22 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第23次調査 ☆1	杭	1	放射性炭素年代測定	紀要2001 紀要2004 報告22	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第23次調査	杭・木材	5	放射性炭素年代測定	報告22 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第27次調査	炉内炭化材／炭化物	2	放射性炭素年代測定	報告18 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第28次調査 ☆2	杭	1	放射性炭素年代測定	報告24 紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	試掘（T37）	土壌内炭化物	1	放射性炭素年代測定	紀要2004	㈱古環境研究所（Beta社）
津島岡大	第７次調査	炉内炭化材	1	熱残留磁気測定	報告９ 紀要2004	島根大学　時枝克安
鹿田	第７次調査	土器付着炭	1	放射性炭素年代測定	報告23	㈱古環境研究所（Beta社）
鹿田	第７次調査	土器付着炭化物	1	放射性炭素年代測定	報告23	㈱古環境研究所（Beta社）

b．植物珪酸体分析（10件）

遺跡名	調査次	種類	報告	分析機関、分析者
津島岡大	第2次調査	土壌	報告2	大分短期大学　佐々木章
津島岡大	第5次調査	土器胎土	報告7	宮崎大学　藤原宏志
津島岡大	第17・22次調査	土壌	報告21	㈱古環境研究所
津島岡大	第23次調査 ☆1	土壌	報告22	㈱古環境研究所
津島岡大	第27次調査	土壌	報告18	㈱古環境研究所
津島岡大	第28次調査 ☆2	土壌	報告24	㈱古環境研究所
津島岡大	試掘（T37） ☆1	土壌	紀要2006	㈱古環境研究所
津島岡大	立会	土壌	紀要2006	宮崎大学　宇田津徹朗
津島岡大	第30次調査	土壌	—	宮崎大学　宇田津徹朗
鹿田	第13次調査 ☆2	土壌	—	㈱古環境研究所

C．花粉分析（8件）

遺跡名	調査次	種類	報告	分析機関、分析者
津島岡大	第2次調査	土壌	報告2	岡山理科大学　三好教夫
津島岡大	第6次調査	土壌	報告9	岡山理科大学　三好教夫
津島岡大	第8次調査	土壌	報告9	岡山理科大学　三好教夫
津島岡大	第23次調査 ☆1	土壌	報告22	㈱古環境研究所
津島岡大	第27次調査	土壌	報告18	㈱古環境研究所
津島岡大	第28次調査 ☆2	土壌	—	㈱古環境研究所
津島岡大	試掘（T37） ☆1	土壌	—	㈱古環境研究所
鹿田	第13次調査 ☆2	土壌	—	㈱古環境研究所

d．植物種子（13件）

遺跡名	調査次	遺構	分析方法	報告	分析者
津島岡大	第3次調査	貯蔵穴	顕微鏡観察	報告5	大阪千代田短期大学　粉川昭平
津島岡大	第5次調査	貯蔵穴	顕微鏡観察	報告7	岡山大学　沖陽子
津島岡大	第6次調査	貯蔵穴	顕微鏡観察	報告9 年報13	大阪千代田短期大学　粉川昭平 岡山大学　沖陽子
津島岡大	第9次調査	貯蔵穴	顕微鏡観察	報告14	岡山大学　沖陽子
津島岡大	第15次調査	貯蔵穴	顕微鏡観察	報告19	岡山大学　沖陽子
津島岡大	第23次調査	貯蔵穴	顕微鏡観察	報告22	岡山大学　沖陽子
鹿田	第1次調査	井戸1	顕微鏡観察	報告3	大阪府立大学　藤下典之
鹿田	第1次調査	井戸1・2・20	顕微鏡観察	報告3	元岡山大学　笠原安夫・武田満子
鹿田	第3次調査	井戸2	顕微鏡観察	報告4	東京大学　松谷暁子
鹿田	第3次調査	井戸2	顕微鏡観察	報告4	大阪市立大学　粉川昭平
鹿田	第5次調査	井戸3・土坑15	顕微鏡観察	報告6	大阪市立大学　粉川昭平
鹿田	第5次調査	土坑15	顕微鏡観察	紀要2002	元九州大学　小西猛
鹿田	第6次調査	井戸1・2・20	顕微鏡観察	年報14	岡山大学　沖陽子

e．植物遺存体（7件）

遺跡名	調査次	採集試料		分析方法	報告	分析者	備考
		遺構・遺物	種類				
津島岡大	第3次調査	縄文土器	炭化植物	走査顕微鏡観察	報告5	東京大学　松谷暁子	不明
津島岡大	第5次調査	縄文土器	炭化植物	走査顕微鏡観察	報告7	東京大学　松谷暁子	ユリ科 ネギ属
津島岡大	第7次調査	炉1	炭化物含む土壌	灰像分析	年報12	東京大学　松谷暁子	未検出
鹿　田	第1次調査	井戸27	灰含む土壌	灰像分析	年報12	東京大学　松谷暁子	イネ籾・藁
鹿　田	第1次調査	住居19内炉	炭化物	灰像分析	年報12	東京大学　松谷暁子	イネ科
鹿　田	第3次調査	井戸2	炭化物	灰像分析	年報4	東京大学　松谷暁子	イネ籾・藁
鹿　田	第5次調査	井戸4	灰を含む土壌	灰像分析	年報12	東京大学　松谷暁子	イネ籾・藁

f．動物遺存体（8件）

遺跡名	調査次	遺構の種類	種類	報告	分析機関・分析者
津島岡大	第9次調査	溝	骨（ウシ、ウマ、シカ）	報告14	奈良国立文化財研究所　松井章
鹿　田	第1次調査	井戸	骨（ウマ）	報告3	岡山大学　鳥海徹
鹿　田	第1次調査	土器棺	歯（ヒト）	報告3	岡山大学　小田嶋悟郎
鹿　田	第1次調査	柱穴	歯・骨（ヒト）	—	岡山大学　小田嶋悟郎
鹿　田	第1・2次調査	井戸	貝	報告3	比治山女子短期大学　稲葉明彦
鹿　田	第3・4次調査	河道	骨（ウシ、イヌ、ニホンジカ）	報告4	奈良国立文化財研究所　松井章
鹿　田	第5次調査	井戸	骨（ウシ）	報告6	奈良国立文化財研究所　松井章
鹿　田	第5次調査	土壙墓	歯・骨（ヒト）	報告6	岡山大学　小田嶋悟郎

g．樹種同定（22件）

遺跡名	調査次	分析方法	報告	分析機関・分析者
津島岡大	第3次調査	顕微鏡観察	報告5（報告9・年報10に再録）	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第5次調査	顕微鏡観察	報告9（年報10に再録）	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第6次調査	顕微鏡観察	報告9（年報10に再録）	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第9次調査	顕微鏡観察	報告14	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第10次調査	顕微鏡観察	報告16	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第12次調査	顕微鏡観察	報告14（報告16に再録）	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第15次調査	顕微鏡観察	報告19	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第17次調査	顕微鏡観察	報告21	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第19次調査	顕微鏡観察	報告17	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第22次調査	顕微鏡観察	報告21	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第23次調査	顕微鏡観察	報告22	森林総合研究所　能城修一 早稲田大学先史考古学研究所 佐々木由香
津島岡大	第26次調査	顕微鏡観察	報告20	森林総合研究所　能城修一
津島岡大	第27次調査	顕微鏡観察	報告18	㈱古環境研究所
鹿　田	第1次調査	肉眼観察	報告3（報告6・年報10に再録）	岡山大学　畔柳鎮
鹿　田	第1次調査	顕微鏡観察	年報10	森林総合研究所　能城修一
鹿　田	第2次調査	肉眼観察	報告6（年報10に再録）	岡山大学　畔柳鎮
鹿　田	第2次調査	顕微鏡観察	年報10	森林総合研究所　能城修一
鹿　田	第3次調査	顕微鏡観察	報告4（報告6・年報10に再録）	森林総合研究所　能城修一
鹿　田	第5次調査	顕微鏡観察	報告6（年報10に再録）	森林総合研究所　能城修一
鹿　田	第7次調査	顕微鏡観察	報告23	森林総合研究所　能城修一
鹿　田	第7次調査：曲物	顕微鏡観察	報告23	㈱吉田生物研究所
鹿　田	第7次調査 ：猿形木製品	顕微鏡観察	報告23	㈶元興寺文化財研究所

h．その他（18件）

遺跡名	調査次	試料の種類	目的・方法	報告	分析機関・分析者
鹿　田	第１・２次調査	石器・石材	石材分析	報告３	岡山理科大学　三宅寛
津島岡大	第５～27次調査	石器・石材	石材分析	報告７～23	岡山大学　鈴木茂之
鹿　田	第２～８次調査	石器・石材	石材分析		岡山大学　鈴木茂之
福　呂	第１次調査	黒曜石・安山岩	石器産地同定	報告15	岡山理科大学　白石純
鹿　田	第１次調査	ガラス滓	成分分析	報告３	東京国立文化財研究所　三浦定俊 株式会社ニコン　苅谷道郎
津島岡大	第10次調査	鉄滓	成分分析	紀要2003	川鉄テクノリサーチ
津島岡大	第19次調査	鉄滓	成分分析	紀要2003	川鉄テクノリサーチ
津島岡大	第５次調査	漆塗り竪櫛	赤色顔料成分分析（辰砂）	年報11	㈶京都埋蔵文化財研究所 岡田文男
津島岡大	第５次調査	赤色顔料塗布耳栓	赤色顔料成分分析（水銀朱）	報告７	徳島県立博物館　魚島純一
鹿　田	第１次調査	土壌中の赤色顔料	成分分析（ベンガラ）	報告３	岡山大学　逸見千代子
鹿　田	第７次調査	猿形木製品	赤色顔料分析	報告23	㈶元興寺文化財研究所
鹿　田	第12次調査	漆塗り椀	漆分析	—	㈶元興寺文化財研究所
鹿　田	第７次調査	漆塗り椀	漆膜構造分析	報告23	㈱吉田生物研究所
津島岡大	第12次調査	棒火矢	火薬成分分析	紀要2003	岡山大学　松田敏彦
津島岡大	第12次調査	棒火矢	金属・定量分析	報告16	岡山大学　柴田次夫
津島岡大	第５次調査	縄文土器胎土	粒度組成分析	報告７	帝京大学　河西学
津島岡大	第19次調査	土壌	粒度組成分析	報告17	岡山大学　鈴木茂之
津島岡大	第28次調査	土壌（黒色土）	成分分析	紀要2003	岡山理科大学　白石純

⑦ 遺物の保存処理（木製品）

a．外部委託状況

年度	遺跡名	点数	遺物	保存処理機関	保存処理法
1990	津島岡大第６次	1	アンペラ	㈶元興寺文化財研究所	PEG含浸処理法
1991～1992	鹿田遺跡第１次	34	木製短甲ほか	㈶元興寺文化財研究所	PEG含浸処理法／アルコール・キシレン樹脂法
	鹿田遺跡第２次	13	斎串ほか	㈶元興寺文化財研究所	PEG含浸処理法／アルコール・キシレン樹脂法
	鹿田遺跡第３次	2	毬形木製品ほか	㈶元興寺文化財研究所	PEG含浸処理法
	鹿田遺跡第５次	11	下駄ほか	㈶元興寺文化財研究所	PEG含浸処理法／アルコール・キシレン樹脂法
	鹿田遺跡第６次	1	曲げ物	㈶元興寺文化財研究所	アルコール・キシレン樹脂法
	津島岡大第５次	1	漆塗り櫛	㈶元興寺文化財研究所	PEG含浸処理法
	津島岡大第６次	1	人形木製品	㈶元興寺文化財研究所	アルコール・キシレン樹脂法
1993	鹿田遺跡第５次	1	柄付き刀子	㈶京都市埋蔵文化財研究所　岡田文男	高級アルコール法
1996	津島岡大第15次	21	アンペラ	㈱吉田生物研究所	高級アルコール法
1998	津島岡大第９次	2	杓子・刀形木製品	㈱吉田生物研究所	高級アルコール法
	津島岡大第10次	1	案	㈱吉田生物研究所	高級アルコール法
	津島岡大第12次	13	農具・棒火矢ほか	㈱吉田生物研究所	高級アルコール法
2001	鹿田遺跡第７次	1	猿形木製品	㈶元興寺文化財研究所	アルコール・キシレン樹脂法
	鹿田遺跡第９次	2	木簡	㈶元興寺文化財研究所	アルコール・キシレン樹脂法
	鹿田遺跡第９次	1	漆塗り椀	㈶元興寺文化財研究所	凍結乾燥法
	鹿田遺跡第11次	1	木簡	㈶元興寺文化財研究所	アルコール・キシレン樹脂法
	鹿田遺跡第12次	1	漆塗り櫛	㈶元興寺文化財研究所	凍結乾燥法
	津島岡大第23次	1	猿の腰掛け	㈶元興寺文化財研究所	凍結乾燥法
2004	鹿田遺跡第９次	1	漆塗り椀	㈶元興寺文化財研究所	アルコール・キシレン樹脂法
	鹿田遺跡第13次	2	曲げ物	㈱吉田生物研究所	高級アルコール法
	鹿田遺跡第14次	3	木簡・櫛・漆椀	㈱吉田生物研究所	高級アルコール法
2005	鹿田遺跡第７次	2	曲げ物・漆椀	㈱吉田生物研究所	高級アルコール法

b．センター内での保存処理

期	期　間	処　理　内　容
第１期	1992（H４）年２月～1993（H５）年11月	鹿田遺跡第１・２次調査
第２期	1994（H６）年６月～1996（H８）年８月	鹿田遺跡第３～５次調査、津島岡大遺跡第３・５・６次調査
第３期	1996（H８）年12月～1999（H11）年６月	鹿田遺跡第３次調査、津島岡大遺跡第３・６次調査
第４期	1999（H11）年７月～2000（H12）年12月	鹿田遺跡第３・４次調査、津島岡大遺跡第３次調査
第５期	2001（H13）年１月～2002（H14）年３月	鹿田遺跡第３・４次調査、津島岡大遺跡第３・９・10・12・13次調査
第６期	2002（H14）年11月～2004（H16）年８月	鹿田遺跡第７次調査、津島岡大遺跡第19・22次調査
第７期	2005（H17）年11月～2007（H19）年５月	津島岡大遺跡第23・24次調査
第８期	2007（H19）年８月～（継続中）	津島岡大遺跡第23次調査

⑧ 展示会実施状況

展示会開催回数：13回、見学者総数：5,182人
（津島地区：９回、鹿田地区：３回、岡山市デジタルミュージアム：１回）

回数	タイトル	開催期間	見学者数（人）	開催場所	備　考
1	縄文・弥生の食生活	1989.11.16～11.18	282	津島地区・学生会館	記念講演会・野外考古学体験教室・ビデオ上映
2	まつり―井戸・墓・祈り―	1990.11.３～11.４	174	鹿田地区・医学部基礎医学棟２Ｆ	ビデオ上映
3	津島と鹿田と4000年	1997.11.14～11.16	363	津島地区・学生会館	講演会・津島岡大遺跡現地説明会・遺跡見学会
4	キャンパス発掘成果展	2000.10.16～10.31	188	津島地区・埋蔵文化財調査研究センター	定期開催スタート
5	のぞいてみよう！ 埋文センター	2001.10.20～11.２	317		土器接合体験
6	使ってみよう！ 石の道具	2002.10.21～11.１	252		石器つくり・使用体験／日曜開催
7	鹿田遺跡発掘20周年 特別展示	2003.10.18～10.24	370	鹿田地区・病棟１Ｆ	鹿田遺跡現地説明会・写真パネル展示
8	遺跡の土層を切る！	2003.10.27～11.１	109	津島地区・埋蔵文化財調査研究センター	石器探し・土器当てクイズ／夜間開催
9	土・技・心	2004.10.26～10.31	253		分銅形土製品つくり・文様付け・拓本体験
10	鹿田遺跡と鹿田庄	2005.10.20～10.22	344	鹿田地区・病棟１Ｆ	床面展示
11	行き交う人ともの	2005.10.26～10.30	114	津島地区・埋蔵文化財調査研究センター	猿形木製品色つけ
12	兵どもが夢の跡	2006.11.15～11.19	255	津島地区・旧事務局棟	構内戦跡見学会
13	自然と人間、地中に埋もれた命の対話	2007.６.５～６.17	2,161	岡山市デジタルミュージアム	ビデオ上映・土器接合体験・石器探し・くぐつまわし探し・床面展示・模型展示・展示解説・講演会（２日：「鹿田、古代・中世のにぎわい」「津島、自然のなかの縄文人」）

⑨ 教育面での受け入れ状況：1987（昭和62）～2007（平成19）年度

年度	岡山大学博物館学実習日	中学生職場体験	小・中学生の総合学習
1988	7.18～9.2		
1990	7.16～9.10		
1992	8.21～8.28		
1993	8.27～		
1994	8.30～9.7		
1995	8.21～8.31		
1996	8.22～8.30		
1997	8.21～8.29		岡山市立津島小学校
1998	8.20～8.28		
1999	8.2～8.10		岡山市立鹿田小学校・横井小学校
2000	8.1～8.9		
2001	8.1～8.9		
2002	8.1～8.13		御津町小学校、 岡山市立京山中学校
2003	8.1～8.8	11.19～21　岡山市立高松中学校・ 岡山市立竜操中学校	岡山市立京山中学校
2004	8.3～8.10	11.11～19　岡山市立高松中学校・ 岡山市立竜操中学校	岡山市立津島小学校
2005	8.3～8.9	11.24・25　岡山市立高松中学校、 1.31～2.2　岡山市立竜操中学校	
2006	8.1～8.8	11.14～16　岡山市立竜操中学校、 11.20～22　岡山市立高松中学校	
2007	8.2～9、8.16、10.1・16	11.20　岡山市立高松中学校	

⑩ 科学研究費採択状況：1999（平成11）～2007（平成19）年度

1999年度（H11）	小林　青樹	特定領域研究（A 2）「縄文・弥生移行期における呪的遺物の集成的研究」
	豊島　直博	奨励研究（A）「古墳時代における軍事組織形成過程の研究」
	野崎　貴博	奨励研究（A）「古墳時代の土製棺の集成的研究」
2000年度（H12）	山本　悦世	基盤研究（C）「縄文時代の景観と生業に関する実証的研究」
	野崎　貴博	奨励研究（A）「古墳時代の土製棺の集成的研究」
2001年度（H13）	山本　悦世	基盤研究（C）「縄文時代の景観と生業に関する実証的研究」
	高田　浩司	奨励研究（A）「弥生時代銅鏃と古墳時代銅鏃との比較研究」
	野崎　貴博	奨励研究（A）「古墳時代の棺制度の考古学的研究」
	岩﨑　志保	基盤研究（C）「縄文時代の景観と生業に関する実証的研究」（研究分担者）
	横田　美香	基盤研究（C）「縄文時代の景観と生業に関する実証的研究」（研究分担者）
2002年度（H14）	山本　悦世	基盤研究（C）「縄文時代から弥生時代における景観比較と植物遺体の標本化」
	高田　浩司	若手研究（B）「弥生時代銅鏃と古墳時代銅鏃との比較研究」
	野崎　貴博	若手研究（B）「古墳時代の棺制度の考古学的研究」
	岩﨑　志保	基盤研究（C）「縄文時代から弥生時代における景観比較と植物遺体の標本化」（研究分担者）
	横田　美香	基盤研究（C）「縄文時代から弥生時代における景観比較と植物遺体の標本化」（研究分担者）
2003年度（H15）	山本　悦世	基盤研究（C）「縄文時代から弥生時代における景観比較と植物遺体の標本化」
	岩﨑　志保	若手研究（B）「東周時代墓葬の比較考古学的研究」
	岩﨑　志保	基盤研究（C）「縄文時代から弥生時代における景観比較と植物遺体の標本化」（研究分担者）
	横田　美香	基盤研究（C）「縄文時代から弥生時代における景観比較と植物遺体の標本化」（研究分担者）
2004年度（H16）	岩﨑　志保	若手研究（B）「東周時代墓葬の比較考古学的研究」
	光本　順	若手研究（B）「弥生時代から古墳時代における刀剣副葬に関する集成的研究」
2005年度（H17）	山本　悦世	基盤研究（C）「弥生時代～中世の景観復元と社会における生業の位置づけに関する実証的研究」
	高田　貫太	若手研究（B）「5、6世紀日朝交渉の考古学的研究」
	光本　順	若手研究（B）「弥生時代から古墳時代における刀剣副葬に関する集成的研究」
	岩﨑　志保	基盤研究（C）「弥生時代～中世の景観復元と社会における生業の位置づけに関する実証的研究」（研究分担者）
2006年度（H18）	山本　悦世	基盤研究（C）「弥生時代～中世の景観復元と社会における生業の位置づけに関する実証的研究」
	光本　順	若手研究（B）「弥生時代から古墳時代における刀剣副葬に関する集成的研究」
	中村　大介	若手研究（B）「弥生時代開始期における日韓の玉類の比較研究」
	岩﨑　志保	基盤研究（C）「弥生時代～中世の景観復元と社会における生業の位置づけに関する実証的研究」（研究分担者）
2007年度（H19）	山本　悦世	基盤研究（C）「弥生時代～中世の景観復元と社会における生業の位置づけに関する実証的研究」
	岩﨑　志保	基盤研究（C）「弥生時代～中世の景観復元と社会における生業の位置づけに関する実証的研究」（研究分担者）

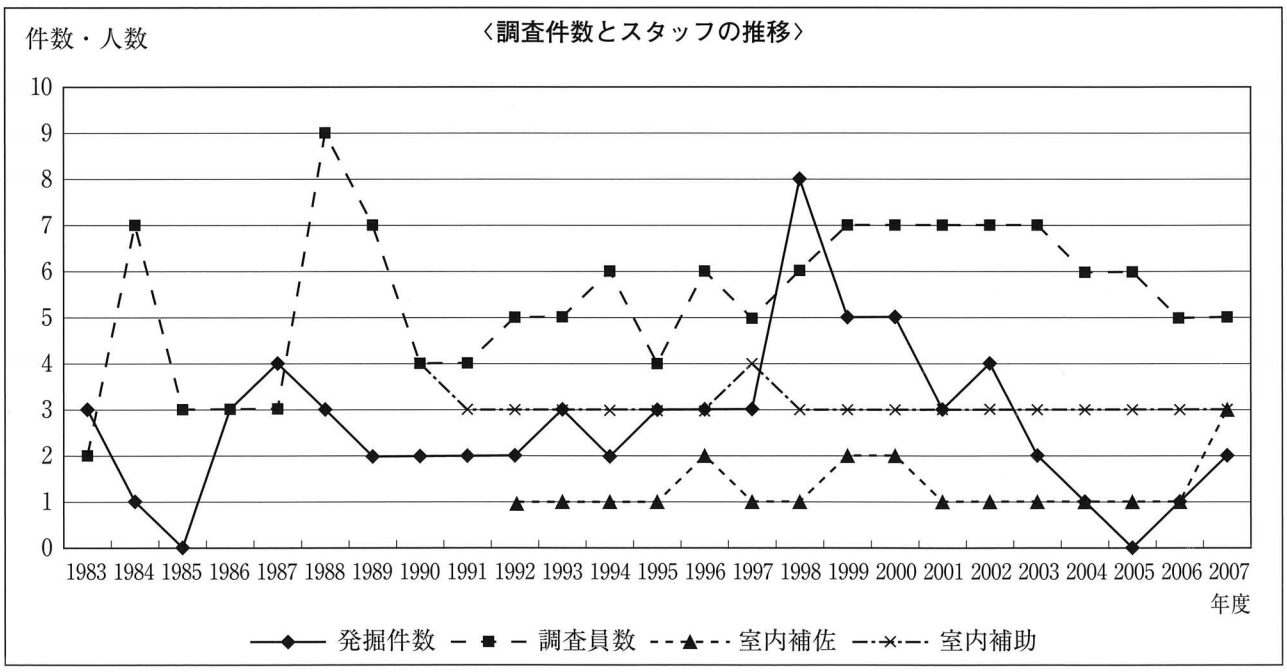
⑪ 調査とスタッフの推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
発掘件数	3	1	0	3	4	3	2	2	2	2	3	2
調査面積	2,905	2,188	0	3,940	2,922	2,937	600	780	1,480	1,050	2,512	1,472
試掘件数	8	2	4	2	4	3	4	4	0	0	1	1
調査員数	2	7	3	3	3	9	7	4	4	5	5	6
センター長	—	—	—	—	— 近藤	近藤	髙重	髙重	稲田	稲田	稲田	稲田
室長	近藤	近藤	近藤→稲田	稲田	稲田 山本	山本	新納	新納	新納	新納	新納	新納
助手	1	1	2	2	2	7	6	4	4	5	5	6
技術補佐	1	6	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0
室内補佐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
室内補助	0	*5	*6	*7	(5)	(5)	0	4	3	3	3	3

*：学生バイト　　（ ）：短期非常勤

年度	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
発掘件数	3	3	3	8	5	5	3	4	2	1	0	1	2
調査面積	2,332	3,081	1,218	4,936	6,464	4,840	5,095	4,442	1,361	49	0	642	1,950
試掘件数	3	0	2	6	2	2	0	1	0	0	0	1	0
調査員数	4	6	5	6	7	7	7	7	7	6	6	5	5
センター長	稲田	稲田	稲田	稲田	稲田	稲田	稲田	稲田	稲田	阿部	阿部	梶原	梶原
副センター長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	稲田	稲田	稲田	稲田
室長	新納	新納	新納	新納	新納	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本
助教授	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	—
准教授	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
助手	4	6	5	6	6	6	6	6	6	5	5	4	—
助教	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
室内補佐	1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	3
室内補助	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

※阿部：阿部健、稲田：稲田孝司、梶原：梶原憲次、近藤：近藤義郎、髙重：髙重進、新納：新納泉、山本：山本悦世



⑫ 埋蔵文化財調査研究センター運営委員・調査研究専門委員・教職員一覧：1987(昭和62)～2007(平成19)年度

年度	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993
運営委員	小田嶋梧郎 近藤　義郎 定兼　範明 中山　沃 本田　和男 上村　保人 山本　悦世	小田嶋梧郎 近藤　義郎 定兼　範明 中山　沃 本田　和男 上村　保人 山本　悦世	小田嶋梧郎 近藤　義郎 定兼　範明 渋谷　政利 髙重　進 中山　沃 新納　泉 本田　和男	小田嶋梧郎 近藤　義郎 定兼　範明 渋谷　政利 髙重　進 中山　沃 新納　泉 本田　和男	稲田　孝司 狩野　久 定兼　範明 渋谷　政利 髙重　進 千葉　喬三 新納　泉 本田　和男	稲田　孝司 狩野　久 北原　實 定兼　範明 髙重　進 千葉　喬三 新納　泉 本田　和男	稲田　孝司 狩野　久 北原　實 定兼　範明 髙重　進 千葉　喬三 新納　泉 村上　宅郎
調査研究専門委員	小田嶋梧郎 千葉　喬三	小田嶋梧郎 千葉　喬三	小田嶋梧郎 千葉　喬三	小田嶋梧郎 千葉　喬三	千葉　喬三	千葉　喬三	千葉　喬三
教職員(教員・技術補佐員)	石坂　俊郎 松岡かおり 山本　悦世	石坂　俊郎 入倉　徳裕 絹川　一徳 土井　基司 藤原　千鶴 山本　悦世 若林　卓	石坂　俊郎 絹川　一徳 土井　基司 藤原　千鶴 山本　悦世 若林　卓	絹川　一徳 土井　基司 松木　武彦 山本　悦世 若林　卓	阿部　芳郎 土井　基司 富樫　孝志 松木　武彦 山本　悦世	阿部　芳郎 土井　基司 富樫　孝志 松木　武彦 山本　悦世	阿部　芳郎 土井　基司 富樫　孝志 松木　武彦 山本　悦世
		安井宣也・高橋進一	安井　宣也		内田　恵	絹川　恵	絹川　恵

年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
運営委員	井内　敏雄 稲田　孝司 狩野　久 髙重　進 建部　和弘 千葉　喬三 新納　泉 村上　宅郎	井内　敏雄 稲田　孝司 狩野　久 髙重　進 建部　和弘 千葉　喬三 新納　泉 村上　宅郎	井内　敏雄 稲田　孝司 狩野　久 柴田　次夫 建部　和弘 千葉　喬三 新納　泉 村上　宅郎	井内　敏雄 稲田　孝司 狩野　久 柴田　次夫 建部　和弘 千葉　喬三 新納　泉 村上　宅郎	稲田　孝司 遠藤　久男 狩野　久 柴田　次夫 建部　和弘 千葉　喬三 新納　泉 村上　宅郎	稲田　孝司 遠藤　久男 倉地　克直 柴田　次夫 千葉　喬三 名合　宏之 新納　泉 村上　宅郎	稲田　孝司 遠藤久男→森内壽一 柴田　次夫 千葉　喬三 名合　宏之 新納　泉 久野　修義 村上　宅郎 山本　悦世
調査研究専門委員	千葉　喬三	千葉　喬三	千葉　喬三	千葉　喬三	千葉　喬三	千葉　喬三	千葉　喬三
教職員(教員・技術補佐員)	阿部　芳郎 岩崎　志保 富樫　孝志 松木　武彦 光石　鳴巳 山本　悦世	岩崎　志保 光石　鳴巳 山本　悦世 横田　美香	岩崎　志保 小林　青樹 野崎　貴博 光石　鳴巳 山本　悦世 横田　美香	岩崎志保(育休) 小林　青樹 野崎　貴博 山本　悦世 横田　美香	岩崎　志保 小林　青樹 豊島　直博 野崎　貴博 山本　悦世 横田　美香	岩崎　志保 喜田　敏 小林　青樹 豊島　直博 野崎　貴博 山本　悦世 横田　美香	岩崎志保(育休) 忽那　敬三 高田　浩司 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世 横田　美香
	吉田　桜子	吉田　桜子	猪原　千恵 吉田　桜子	杉山　千恵	関　幸代	関　幸代 福井　優	関　幸代 福井　優

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
運営委員	稲田　孝司 柴田　次夫 千葉　喬三 名合　宏之 新納　泉 久野　修義 村上　宅郎 森内　壽一 山本　悦世	稲田　孝司 柴田　次夫 千葉　喬三 名合　宏之 新納　泉 久野　修義 村上　宅郎 森内　壽一 山本　悦世	稲田　孝司 沖　陽子 齋藤　健次 柴田　次夫 名合　宏之 新納　泉 久野　修義 村上　宅郎 山本　悦世	阿部　健 稲田　孝司 大塚　愛二 沖　陽子 齋藤　健次 柴田　次夫 新納　泉 久野　修義 山本　悦世	阿部　健 稲田　孝司 入江　良広 大塚　愛二 沖　陽子 柴田　次夫 新納　泉 久野　修義 山本　悦世	稲田　孝司 入江　良広 大塚　愛二 沖　陽子 梶原　憲次 柴田　次夫 新納　泉 久野　修義 山本　悦世	稲田　孝司 入江　良広 大塚　愛二 沖　陽子 梶原　憲次 柴田　次夫 新納　泉 久野　修義 山本　悦世
調査研究専門委員	千葉　喬三	今津　勝紀 沖　陽子 千葉　喬三	今津　勝紀 沖　陽子 鈴木　茂之	今津　勝紀 沖　陽子 鈴木　茂之	今津　勝紀 沖　陽子 鈴木　茂之	今津　勝紀 沖　陽子 鈴木　茂之	今津　勝紀 沖　陽子 鈴木　茂之
教職員(教員・技術補佐員)	岩崎　志保 忽那　敬三 高田　浩司 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世 横田　美香	岩崎　志保 忽那　敬三 高田　浩司 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世 横田　美香	岩崎　志保 忽那　敬三 高田　浩司 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世 横田　美香	岩崎　志保 高田　貫太 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世 横田　美香	岩崎　志保 高田　貫太 中村　大介 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世	岩崎　志保 中村　大介 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世	池田　晋 岩崎　志保 野崎　貴博 光本　順 山本　悦世
	伴　祐子	伴　祐子	伴　祐子	景山　明香	景山　明香	景山　明香	

あとがき

岡山大学埋蔵文化財調査研究センターでは、2007年11月26日で設立20年を迎えました。本年度は、その記念事業の一つとして、６月に展示会・講演会を岡山市デジタルミュージアムで開催しました。これは、学外の会場を利用する初めての試みであり、工夫をこらした展示は多くの方がたに喜んでいただきました。

展示会では、「自然と人間、地中に埋もれた命の対話」というテーマで、地中深くにのこされた遺構や遺物から、人間が歩んできた自然との関わりを軸にした歴史を語らせることを目指しました。本冊子は、その際に作成したパネルを集成的に掲載したものです。

本冊子の内容は縄文時代から近代あるいは現代の岡山大学に至るまでの長い歴史の中で、自然のめぐみに抱かれて生きた縄文時代から自然への挑戦を始める弥生時代、大規模な土地開発のなかで自然から乖離（かいり）していく古代から中世、そして、命のやりとりを余儀なくされる戦いの世界といったまとまりで構成されています。

資料編では、長年にわたる本センターの活動をまとめることができました。ふり返ってみると、その内容は多岐にわたっており多くの実績をあげてきたことがわかります。着実に進めてきた発掘調査や報告書類の刊行は言うまでもなく、その他にも、展示会を中心に据えた公開活動では、多くのリピーターの方々から、「毎年楽しみな展示会」との声も聞こえてくるようになりました。学内の陸軍関連遺構の測量などは、貴重な資料の記録となっています。また、学内に遺跡保存区を設けられたことも大きな成果でしょう。

埋蔵文化財調査研究センターの20周年にあたり、これまでのこうした実績をふまえつつ、より一層の成果をあげるよう、新たな一歩を踏み出して参りたいと思います。

これまで活動を支えていただいた学内外の多くの皆様に改めてお礼申し上げるとともに、今後のご支援をお願い申し上げます。

岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの20年
自然と人間、地中に埋もれた命の対話

2008年3月18日

■編集・発行……岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
〒700-8530　岡山市津島中3-1-1
■印　　刷……西尾総合印刷株式会社